

第25回

日本の ふるさと 音楽祭

全席
自由

前売り

一般 1,000円
中学生以下無料

当日

一般 1,500円
中学生以下無料

※中学生以下の入場には整理券が必要です。整理券は各プレイガイドにて取り扱っております。

プレイガイド

鳥取市文化センター、鳥取市民会館、とりぎん文化会館
鳥取市文化交流課、エスパック未来中心、米子市文化ホール

令和7年

9/13 土

13:30 開場 鳥取市民会館 大ホール
14:00 開演 (鳥取市掛出町1 2 番地)

文化ホールの空調不具合による開催日程・会場変更のお知らせ

本公演は〈変更前〉鳥取市文化ホール／9月14日(日)→〈変更後〉鳥取市民会館／9月13日(土)へ変更となりました。

※チケット払い戻し希望の方は、鳥取市文化センター(☎0857-27-5181)までお問合せください。

第1部

合唱ステージ

鳥取市少年少女合唱団
岡野貞一記念合唱団
稲葉幼稚園・稲葉保育園
こども園かける

第2部

ゲストステージ



山本 耕平
(テノール)



尾前 加寿子
(ソプラノ)



無料託児
サービスあり
(要事前予約)

第1部は未就学児のご入場が可能です。
第2部は演出の都合上、未就学児のご入場
はご遠慮いただきますよう、あらかじめご
了承ください。

【主催】鳥取市 【共催】日本のふるさと音楽祭運営委員会

【後援】鳥取市文化団体協議会、(公財)鳥取童謡・おもちゃ館、新日本海新聞社、山陰中央新報社、鳥取テレビ、日本海ケーブルネットワーク、NHK鳥取放送局、TSKさんいん中央テレビ、BSS山陰放送、日本海テレビ放送、朝日新聞鳥取総局、産経新聞社、毎日新聞鳥取支局、読売新聞鳥取支社、中国新聞鳥取支局、日本経済新聞鳥取支局、共同通信社鳥取支局、時事通信鳥取支局、テレビ朝日鳥取支局

◎ 駐車場の混雑が予想されますので、公共交通機関等の利用にご協力ください。

お問い合わせ先

日本のふるさと音楽祭運営委員会事務局 鳥取市文化センター内

一般財団法人鳥取市教育福祉振興会 TEL(0857) 27-5181

■ ゲスト出演者



山本 耕平（やまもと・こうへい）／テノール

鳥取県出身。東京藝術大学声楽科卒業。同大学大学院修了。ミラノ・ヴェルディ音楽院修了。イタリア声楽コンクール、日伊声楽コンクール第1位、エネルギー音楽賞、五島記念文化賞・オペラ新人賞、文化庁新進芸術家海外研修生選出ほか受賞多数。

『ドン・カルロ』『リゴレット』等に出演の他、『ヤマトタケル』『景虎』など邦人作曲家による新作オペラや『ルル』『金閣寺』等近現代のオペラに於いても高い評価を得ている。

13歳の主人公・登を演じた『午後の曳航』公演（三島由紀夫原作・宮本亞門演出）は第32回三菱UFJ信託音楽賞を受賞した。

とっとりふるさと大使。東京二期会会員。令和4年度鳥取県文化奨励賞（第1回）受賞。



尾前 加寿子（おまえ・かずこ）／ソプラノ

作陽音楽大学声楽科卒業。モーツァルテウム（オーストリア）にて発声を学ぶ。坂本朱美、ルドルフ・クノール、村田健司、飯田純子、平野弘子の各氏に師事。

これまでに三回のソロリサイタルを主催。鳥取オペラ協会公演「フィガロの結婚」、「魔笛」、「コシ・ファン・トゥッテ」、「金の斧銀の斧」、「窓 -Windows-」、「ボラーノの広場」、「ヘンゼルとグレーテル」などに出演。

地域への合唱普及活動にも尽力し、演奏会等イベント運営にも携わる傍ら、みずばしょうコーラス指揮者、鳥取女声合唱団団長、合唱団優喜メンバーとして活躍中。鳥取オペラ協会理事。



高木 伶（たかき・れい）／ピアノ

米子市出身。愛知県立芸術大学音楽学部卒業。同大学大学院音楽研究科博士前期課程鍵盤楽器領域修了。大学院在学中に兼松信子基金給付にてリスト音楽院に留学。

第12回ショパン国際ピアノコンクールin ASIA アジア大会銅賞。これまでに渡部聖子、西野真琴、安部可菜子、西川秀人、竹内京子、熊谷恵美子、ガーボル・ファルカシュ、エフゲニー・ザラフィアンツの各氏に師事。

現在、愛知県の小学校にて音楽専科として勤務。



岩本 真由子（いわもと・まゆこ）／ピアノ

武蔵野音楽大学器楽科ピアノ専攻卒業。

ピアノを故 市田儀一郎、故 西川妙子、岡野寿子の各氏に師事。

現在、後進の指導にあたるほか声楽の伴奏活動を行う。鳥取女声合唱団、みずばしょうコーラス、コールそらやま、コーラスまつぼっくり、愛真幼稚園ミルフィュー、ピアニスト。

日本のふるさと音楽祭 とは…



岡野貞一、田村虎蔵、永井幸次は、鳥取市で生まれ、あるいは育った偉大な音楽家たちです。彼らは、数多くの唱歌の名曲を作曲し、わが国の音楽教育にも大きな功績を残しました。その背景には、四季折々の豊かな自然に恵まれた鳥取の風土が影響しているのかもしれません。

この音楽祭は、三人の音楽家を讃えるとともに、ふるさと鳥取の素晴らしさを誇ろうと、昭和62年10月に始められました。地元鳥取市の出演者に加え、著名な歌手や奏者をゲストにお迎えし、豊かな音楽の魅力を味わえるのが特徴です。これまでに由紀さおり・安田祥子姉妹、ボニージャックス、デュークエイセス、ダ・カーポ、芹洋子、トラや帽子店、天地総子、鮫島有美子、錦織健、島田祐子、グレッグ・アーウィン、米良美一、倍賞千恵子、宗次郎、チェン・ミン、藤原道山さんなどをお迎えしています。

おか
の
てい
いち
岡野貞一



明治11年鳥取市生まれ。修立小、久松小に学び、東京音楽学校卒業後同校の教授。文部省唱歌編さん委員として「ふるさと」「もみじ」「おぼろ月夜」など数多くの名曲を作曲している。

た
むら
とら
そう
田村虎蔵



明治6年岩美町蒲生生まれ。鳥取市久松小学校訓導となるが、音楽の志高く東京音楽学校に学び、東京高等師範学校教授となる。「金太郎」「大黒さま」「一寸法師」など作曲、教科書編さんなど音楽教育改革を果たす。

なが
い
こう
じ
永井幸次



明治7年鳥取市西町生まれ。少年時代よりキリスト教を通じ、西洋音楽に触れ修得する。東京音楽学校卒業後、郷里鳥取師範、鳥取高女にも勤め音楽の発展に寄与する。関西に出て活躍し、西日本最大の大阪音楽大学を創設する。